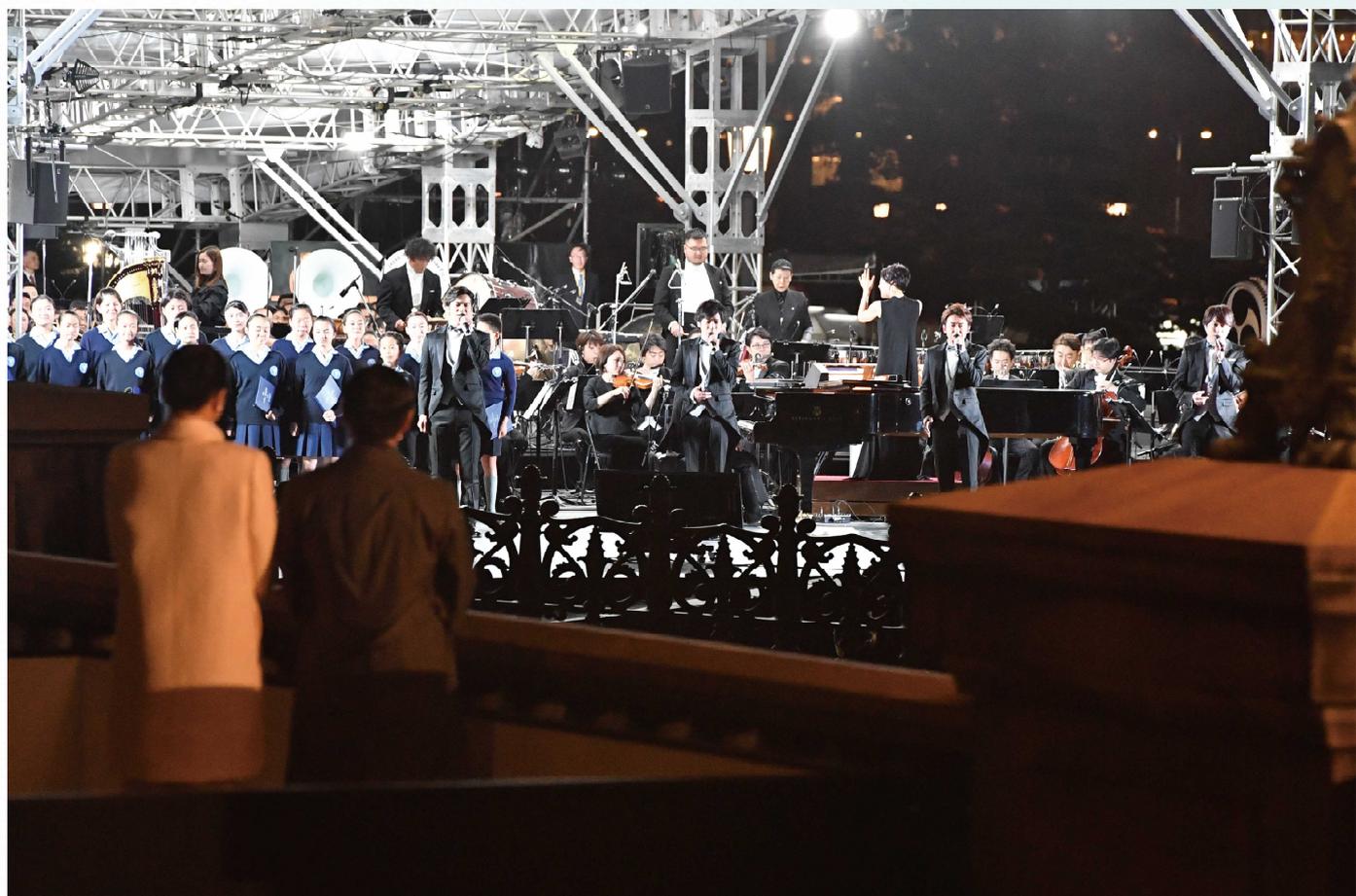


公益財団法人日本文化興隆財団
令和元年度 事業報告書
(令和元年7月～令和2年6月)



天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典・令和元年11月9日開催

日本文化の興隆事業

○田んぼ学校の開催

第13回田んぼ学校 稲刈り 令和元年10月 6日(日)
第14回田んぼ学校 田植え ~~令和2年 6月14日(日) 中止~~
※田植えは、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」について体験を通して学ぶ「田んぼ学校」は、埼玉県熊谷市の古宮神社(茂木貞純宮司)及び近接圃場で継続開催した。同学校では稲作体験はもとより、米の歴史や信仰、植物学的な面からもアプローチし、「日本人と米」の関係を再発見する米の総合学習として開催している。

《会場》埼玉県熊谷市・古宮神社及び近接圃場
《主催》日本文化興隆財団
《協力》古宮神社(茂木貞純宮司・國學院大學教授)
《場所》古宮神社(埼玉県熊谷市池上)
《日程》第13回 稲刈り

令和元年10月6日(日)

第14回 田植え
~~令和2年6月14日(日) 中止~~

《参加費》大人:11,600円 小人:9,600円(田植え・稲刈り込み)
《対象》中学生以下の子供とその保護者・大人のみ参加も可能
《参加者》各回約100名

《内容》【田植え】
豊作祈願祭・おむすび作り・ポン菓子作り・白丁、早乙女体験・田植え・田植機デモンストレーション
【稲刈り】
稲刈り・コンバインデモンストレーション・豊作感謝祭 脱穀糶摺り体験・餅つき

○日本文化セミナー

①日本神話一人語り公演「日本神話 イザナミ語り」

日本人の和の心や文化の原点ともいえる神話に触れ、継承されてきた日本神話の世界観を声優・小山茉美氏による「一人語り」という形式で雅楽を取り入れ、不特定多数の一般に向けた日本神話啓発事業「イザナミ語り」として開催した。

「神話・伝承の教材化と実践『子ども古事記』がひらく世界」

日時:令和元年10月26日(土)
会場:國學院大學渋谷キャンパス常磐松ホール
主催:國學院大學
後援:公益財団法人日本文化興隆財団

「神話・伝承の教材化と実践『子ども古事記』がひらく世界」と題した国際シンポジウムが開催され、国内外の研究者が、子どもが古事記に親しみやすい教育現場で使える教材づくりの進め方やどのように次世代に伝えていくかをテーマにディスカッションが行われ、その中で、「日本神話イザナミ語り」が実践事業として同大学の青葉雅楽会の演奏協力により上演した。

青空シアター「日本神話 イザナミ語り」

日時:~~令和2年3月29日(日) 延期~~
会場:大阪・すばるホール(大阪府富田林市)
主催:公益財団法人富田林市文化振興事業団
後援:公益財団法人日本文化興隆財団
同会場のプラネタリウム室にて満天の星空を背景に開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期になった。



神話語りの出版化
小山茉美著/日本文化興隆財団企画
『日本神話イザナミ語り』1320円(青林堂刊)

小山茉美(声優・ナレーター)

Dr. スランブアラレちゃん(アラレ)
名探偵コナン(ヘルモット)
ワンピース(ビッグママ)ほか
番組ナレーターとしても活躍中。
日本神話を語り継ぐための「イザナミプロジェクト」を展開中。



國學院大學青葉雅楽会の協力



②「日本を元気にする『古事記』のころ」開催

一般社会人向けに毎月一回継続開催した。本講座は渋川八幡宮(群馬)禰宜、國學院大學講師の小野善一郎氏を講師に、『古事記』が現代に問いかける紙背にある「心」を考える講座として好評を博し、各回約50名が受講した。

《主催》日本文化興隆財団
《講師》小野善一郎
《日時》平成31年4月15日～全20回
※新型コロナウイルス感染症拡大のため令和2年3月から6月まで休講
月1回月曜日/18時30分～20時
《会場》日本文化興隆財団会議室
《参加数》各回約50名
《受講料》各回1,500円



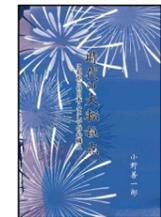
コロナ禍では、一席一人掛け、定員の半数以下で開催



講座テキスト
『古事記のころ』
小野善一郎著
2200円(青林堂刊)



サブテキスト
『凌霜のころ』
小野善一郎著
1100円(日本文化興隆財団刊)



サブテキスト
『時代の大転換点』
小野善一郎著
1100円(日本文化興隆財団刊)

③「大祓詞のころ」開催

「大祓詞」の解釈を通して古代から受け継がれてきた日本人が生み出した「祓」を学ぶ講座として好評を博し、毎回約50名が受講した。

《主催》日本文化興隆財団
《講師》小野善一郎
《日時》平成31年3月25日～令和元年12月23日(全10回)
月一回/18時30分～20時
《会場》日本文化興隆財団会議室
《参加数》各回約50名
《受講料》各回1,500円



講座テキスト
小野善一郎著
『あなたを幸せにする大祓詞』
2200円(青林堂刊)

④「大嘗祭のころ」開催

悠久の歴史の中で受け継がれてきた大嘗祭の紙背にある「ころ」と日本の精神文化の原点を学ぶ講座として、令和元年10月に二回連続講座として開催した。

《主催》日本文化興隆財団
《講師》小野善一郎
《日時》第1回:神宮の神嘗祭
令和元年10月10日18時30分～20時
第2回:大嘗祭のころ
令和元年10月11日18時30分～20時
《会場》日本文化興隆財団会議室
《参加数》各回約50名
《受講料》各回1,000円



講座テキスト
小野善一郎著
『大嘗祭のころ』
3300円(日本文化興隆財団刊)



サブテキスト
小野善一郎著
『大嘗祭のころ』
1650円(青林堂刊)

○鎮守の森保全活動

東日本大震災で流失した鎮守の森再生に向けて、東北復興支援の一環として全11回に亙り開催した「みんなの鎮守の森植樹祭」開催地の生育調査及び育樹活動を継続的に行った。

日時:令和元年11月27日(水)
場所:宮城県石巻市雄勝町 五十鈴神社
活動:鹿用フェンスの全面撤去

鹿の食害はさらに深刻度が増している(右)ことから生存樹種の生育調査を継続する。
新型コロナウイルスの影響で下半期の活動は中止している。



季刊誌『皇室』の頒布普及事業

皇室

季刊誌『皇室The Imperial Family』を年4回発行し、令和元年度は83号から86号を刊行した。日本宝くじ協会の助成金を活用し、3,500箇所の全国公共図書館への寄贈を66号から継続している。

また、「神社検定」の公式テキストとして広く一般に向けた新たな層へ皇室に対する理解促進、皇室祭祀の意義啓発の教化も兼ねた増頒布対策を行った。

■83号より新帝陛下ご即位号を機に誌面の大幅なりニューアルを実施

- 判型を従来のA4変形判からA4正寸に変更、頁数はそのままに軽量化、発送コストの軽減
- カラー・モノクロから全ページオールカラー化

■83号から86号は、新帝陛下御即位記念大特集を掲載



第83号 夏
(令和元年7月25日刊)
1,600円+税
令和の時代を迎えて
厳かに晴れやかにご即位の諸儀式
ご譲位の諸儀式
上皇・上皇后両陛下ご譲位を前にされて
天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い
ほか



第84号 秋
(令和元年10月25日刊)
1,600円+税
天皇陛下のライフワーク
ご即位の諸儀式 大嘗宮地鎮祭
秋篠宮皇嗣・同妃両殿下
ポーランド・フィンランドご訪問随行記
昭和天皇の御装束 ほか

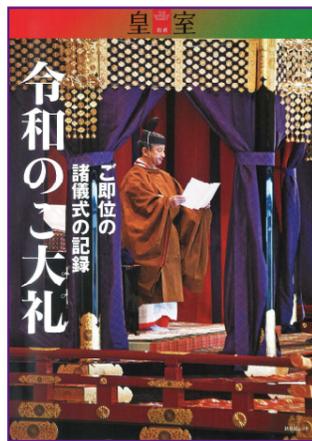


第85号 冬
(令和2年1月24日刊)
1,600円+税
厳かに晴れやかにご即位の諸儀式
即位礼正殿の儀、大嘗宮の儀など一大
絵巻ともいふべき即位の諸儀式を特集
天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典
令和の御代を寿ぐ、交歓の時 ほか



第86号 春
(令和2年4月25日刊)
1,600円+税
大礼のご装束
天皇陛下・皇后陛下・皇嗣殿下・
皇嗣妃殿下・女性皇族方・侍従・女官
威儀の者・衛門・采女・火炬手
宮中装束 ほか

■別冊「令和のご大礼」を刊行（令和2年6月15日刊）



別冊 令和のご大礼 ご即位の諸儀式の記録

A4判・174頁・オールカラー

ご即位の諸儀式が蘇る 永久保存版を刊行

82号から86号に掲載された「ご即位の諸儀式」の鮮やかな写真と詳細な記事、そのほか当財団が共催した「国民祭典」などのご即位に関連した記事を一冊に纏め、巻頭には天皇皇后両陛下のご装束、正装のお写真を特別掲載するなど、ご即位の記録を後世に残す永久保存版として刊行。



企画：公益財団法人日本文化興隆財団
発行：株式会社扶桑社
定価：本体2,200円+税



検定事業

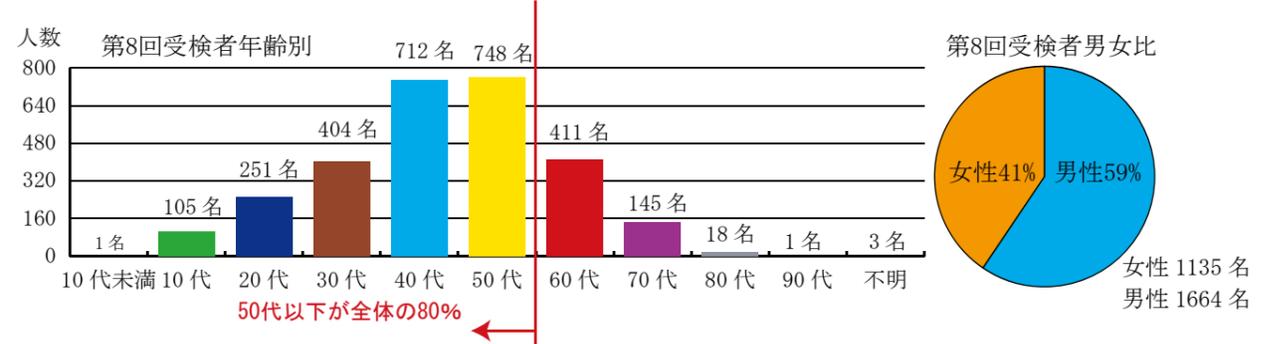
神道文化検定（神社検定）の実施



■第9回 神道文化検定（神社検定）を延期

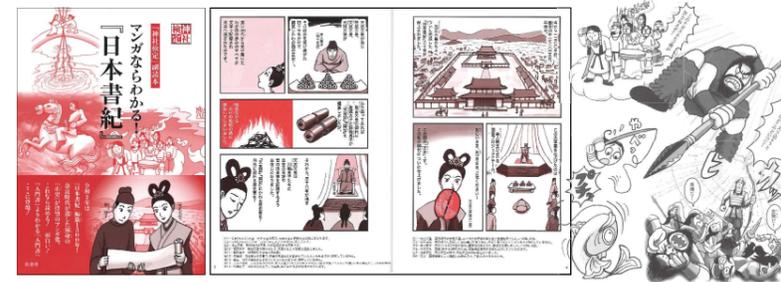
神道文化検定は、神道に対する正しい知識の啓発と日本文化の興隆を図る事業として、神社本庁が監修、一般財団法人神道文化会、株式会社扶桑社の後援で平成24年から毎年開催しており、公式テキストの出版部数は、累計21万冊を突破している。第9回となる同検定は、令和2年6月28日（日）に全国44箇所で開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和3年6月27日に開催を延期した。

- 《主催》公益財団法人日本文化興隆財団
- 《監修》神社本庁
- 《後援》一般財団法人神道文化会・株式会社扶桑社
- 《日程》~~令和2年6月28日（日）~~ 新型コロナウイルス感染症拡大により一年延期
- 《会場》全国41会場



■公式テキスト副読本『マンガならわかる！『日本書紀』』を刊行

日本書紀編纂1300年を記念して、日本書紀の理解促進を図るべく、公式テキストをベースとした『マンガならわかる！『日本書紀』』を刊行し、不特定多数を対象に『日本書紀』の啓発活動を行った。



本体 2000円+税
A5判 272頁 2色・モノクロ
マンガ たたらなおき
企画 公益財団法人日本文化興隆財団
編集 株式会社扶桑社「皇室」編集部

■神社検定提供ラジオ番組「かみさまさんぽ」放送終了



平成29年から2年半にわたり協賛してきた東京FM系列インターネットラジオ局「TS ONE」の神社情報番組「かみさまさんぽ」が令和元年9月末日の放送をもって終了した。

番組制作：TOKYO SMARTCAST株式会社
番組進行：下川友子（タレント）
放送回数：125回

■神社検定公式テキスト及び参考テキスト累計21万冊突破

神社のいろは	56,000	万葉集と神様	7,000
神話のおへそ	31,000	神話のおへそ『古語拾遺』編	6,700
神社のいろは続	21,000	神話のおへそ『日本書紀』編	8,000
遷宮のつぼ	18,000	伊勢神宮と、遷宮のかたち	7,000
神社のいろは要語集宗教編	4,900	マンガならわかる！『日本書紀』	5,000
日本の祭り	9,000	神社検定問題と解説	33,100
神社のいろは要語集祭祀編	3,600	合計	210,300



皇室敬慕に関する事業

■「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」の開催

皇室に対する国民への理解促進と広くその趣旨を伝える目的から「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」を令和元年11月9日、皇居前に約7万人を集め開催した。

同祭典は、天皇陛下御即位奉祝委員会（会長・三村明夫日本商工会議所会頭）、天皇陛下御即位奉祝国会議員連盟（会長・伊吹文明衆議院議員）、公益財団法人日本文化興隆財団（理事長・田中恆清）が主催、内閣府など各省庁の後援のもと開催され、第一部の「奉祝まつり」は、午後1時から内堀通りで「奉祝パレード」、鍛冶橋通りでは「奉祝神輿渡御」が行われ、午後5時からは皇居前広場で、第二部の「祝賀式典」が行われた。

「祝賀式典」では、俳優の谷原章氏とキャスターの有働由美子氏の司会進行のもと、陸海空自衛隊合同音楽隊、和太鼓集団「鬼太鼓座」の演奏、各界を代表して、女優の芦田愛菜さん、歌舞伎役者の松本白鸚氏、日本経済団体連合会名誉会長の御手洗富士夫氏、日本オリンピック委員会会長の山下泰裕氏から奉祝メッセージ、午後6時、参加者が提灯を点す中、天皇皇后両陛下には、正門石橋までお出ましになり、三村奉祝委員会会長の式辞、安倍内閣総理大臣が祝辞を述べた。

続いて、この日のために制作された奉祝曲「組曲Ray of Water」（岡田恵和作詞・菅野よう子作曲）が披露された。

同奉祝曲は、第一楽章「海神」、第二楽章「虹の子ども」、第三楽章「Journey to Harmony」で構成され、オーケストラとピアニストの辻井伸行さんの演奏に、人気グループの「嵐」が歌い、天皇皇后両陛下に奉呈された。

奉祝曲は、日本文化興隆財団が御即位を奉祝する各種大会等に無償で貸し出しているほか、第三楽章の曲については、令和2年8月に「嵐」のCDシングル『カイト』にカップリングとして収録され、幅広い層に向け更なる広がりを見せている。



主催：天皇陛下御即位奉祝国会議員連盟
天皇陛下御即位奉祝委員会
公益財団法人日本文化興隆財団

後援：内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、東京都、千代田区

出演者：第一部

衛藤 晟一、木原 稔、久保田政一、石川雅己、藤岡 弘、桐生祥秀、紀平梨花、村上茉愛、乾 友紀子、半井小絵、江戸消防記念会、日枝神社、神田神社、赤坂氷川神社、浅草神社、渋谷氷川神社、江東天祖神社、居木神社、西五反田氷川神社、八丈神社、大國魂神社、恋ヶ窪熊野神社氏子会、小足立八幡神社、伊豆見神社、萬歳會、不二流惟神体道会、大鳥居、武蔵睦、相州睦、新宿ひぐらし神輿Japan、上和太鼓、富岡八幡宮、千葉県神輿保存連盟、九十九睦会、川崎道祖神、東京共和睦極神連合睦睦連合、神連、下妻囃子保存会、奉祝神輿会、緑乃會、元禄弥警視庁音楽隊、全日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟、東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊、奥州江刺百鹿大群舞、鳥取しゃんしゃん傘踊り、しばた台輪、よさこい鳴子踊り、稚児舞、東金ばやし、盛岡さんさ踊り、鹿島母ヶ浦面浮立、石岡のおまつり、秋田竿燈まつり、沖縄エイサー、能登のキリコ祭り「宇出津あばれ祭り」、輪島のキリコ祭り、久喜提燈祭り提灯山車、東京高円寺阿波おどり、佐波優子

第二部

陸海空三自衛隊合同音楽隊、鬼太鼓座、古屋 圭司、芦田 愛菜、松本 白鸚、御手洗 富士夫、山下泰裕、阿部 詩、瀬戸大也、マークエステル（作品協力）、九世 野村万蔵・わざおぎ、三村明夫、安倍晋三、菅野よう子、岡田恵和、辻井伸行、嵐、森谷真理、伊吹文明、谷原章介、有働由美子（敬称略・順不同）

国旗小旗の無償頒布を通じた国旗啓発事業

同財団の公益事業の柱である「国旗小旗」普及活動については、全国の敬神婦人会の協力で国旗小旗を奉製いただき各種団体に助成している。令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年比68%の75,200本製作、71件の事業申請のうち、感染症拡大の影響により58件が実施し、昨年比約半数の49,530本を助成した。

Table with 4 columns: 申請団体, 頒布行事名, 申請本数, 頒布本数. It lists various organizations and their activities for distributing national flag pennants, such as '山形県神社庁' and '大阪弥栄の会'.

奉製作業



鹿児島県敬神婦人連合会



福島県いわき市敬神婦人会



徳島県敬神婦人連合会

活動状況



全国豊かな海づくり大会



日本の建国をお祝いする家族の会



八幡大神宮



日の丸フェスティバル



日本唱歌を歌う日の丸行進

国民の健全育成事業

①硫黄島訪島事業

国の歴史と向き合い、英霊に対して赤誠の心を捧げ、戦跡の巡拝を行う中で、日本人として自国を誇ることが出来る歴史観を養い、確かな国家観を備えた人材育成を目的に平成27年から、内閣府と厚生労働省の後援を得て、公益社団法人日本青年会議所との共催事業として東京・小笠原村の硫黄島を訪れ、慰霊行事及び研修を行っている。
 本事業は硫黄島戦で亡くなられた戦歿者御遺族関係者を対象に、全国護國神社會、一般財団法人日本遺族會の協力を戴き毎年実施しており、令和元年は、9月10日から11日に開催した。当財団からは、ご遺族関係者含む28名が硫黄島に渡島した。今回は自衛隊の協力により、渡島に使用する航空機の大型化により、日本青年会議所の参加者を含め100名が渡島することができた。



慰霊祭

- 《場 所》 硫黄島（東京都小笠原村）ほか
- 《共 催》 日本文化興隆財団
日本青年会議所関東地区協議會
- 《日 程》 令和元年9月10日（火）結団式・入間第一ホテル宿泊
令和元年9月11日（水）入間基地から出発（訪島）
- 《対 象》 硫黄島戦歿者ご遺族及び関係者、青少年
- 《参加者》 100名※当財団募集枠28名
- 《参加費》 50,000円
- 《行 程》 自衛隊入間基地発
硫黄島着
硫黄島戦歿者の碑にて慰霊祭
硫黄ヶ丘
兵团司令部豪跡
海軍医務科豪跡
大阪山砲台跡
播鉢山頂上
南海岸（米軍上陸海岸）



②建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト後援事業

建国記念の日に開催される「『建国記念の日』奉祝記念行事「建国メモリアル・マーチングコンテスト」を後援し、国旗小旗の提供、助成金の交付及び審査員の派遣をおこなった。

- 《開 催 日》 令和2年2月11日
- 《主 催》 建国記念の日表参道パレードコンテスト実行委員会
- 《後 援》 公益財団法人日本文化興隆財団
- 《協 力》 東京都大学吹奏楽部連盟
商店街振興組合原宿表参道櫛會
NPO法人日本鼓笛バンド・フォームパトン連盟
- 《出場大学》 駒澤大学・国士舘大学・千葉商科大学・専修大学・早稲田大学
拓殖大学・帝京大学・東海大学・立正大学・國學院大學



物品頒布事業

令和元年度は、従来品の皇室カレンダー、国旗関係品、櫛をはじめ、神話絵本、季刊誌『皇室』別冊、神社検定副読本の出版などコロナ禍に対応した出版を中心に事業品の開発を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から実用品、記念品等の受注も減少し、昨年と比較すると減益となっている。



テナント及び貸会議室の施設運営

①テナント事業

101号室は物品頒布事業推進の一環で物品管理室として使用、202号室、203号室は貸会議室として継続的に使用している。

令和元年度の入居状況

- 204号室 一般社団法人日本国際文化協会
- 205号室 公益社団法人全日本仏教婦人連盟
- 206号室 有限会社村上

②貸会議室事業

貸会議室「代々木会議室」の運営

令和元年度の下半期は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の緊急事態宣言や自治体からの自主要請により利用者が減少し、大幅な減益となった。

「代々木会議室」
新型コロナウイルス感染症への対策

- ①定員数を従来の約40%に変更
- ②一席一名の利用徹底
- ③手洗い水栓の非接触化（赤外線水栓へ変更）
- ④アルコール消毒剤の設置
- ⑤マスク着用の徹底
- ⑥入室時の体温検査
- ⑦机、椅子等の消毒の徹底



第1会議室

第2会議室



第3会議室

第4会議室

第5会議室

1、役員に関する事項

理事(10名) 令和2年6月30日現在		
役名	氏名	役職名
理事長	田中 恆清	(宗)神社本廳総長
副理事長	吉川 通泰	(宗)神社本廳副総長
理事	市川 伊三夫	久光製薬(株)取締役
理事	石原 信雄	野村證券(株)顧問
理事	國分 正明	(公財)東京オペラシティ文化財団理事
理事	打田 文博	(公財)昭和聖徳記念財団評議員
理事	田尾 憲男	鉄道情報システム(株)特別顧問
理事	大原 康男	國學院大學名誉教授
理事	内田 智	弁護士
理事	齊藤 有子(高清水 有子)	皇室評論家

監事(2名) 令和2年6月30日現在		
役名	氏名	役職名
監事	藤江 正謹	(宗)神社本庁監事
監事	小關 笑子(小関 微笑子)	(一社)日本国際文化協会常務理事

評議員(6名) 令和2年6月30日現在		
役名	氏名	役職名
評議員	小野 貴嗣	(宗)神社本廳常務理事
評議員	西高辻 信良	(宗)神社本廳常務理事
評議員	山田 蓉	元宮内庁掌典次長
評議員	孫福 弘明	(宗)神宮 財務部長
評議員	茂木 貞純	(学)國學院大學教授
評議員	橋本 寿史	(株)フジテレビジョン報道局解説員

- [参考]
 ○役員(理事・監事)について
 定款第21条 この法人に、次の役員を置く。
 (1) 理事5名以上10名以内
 (2) 監事1名以上 3名以内
 2 理事のうち、1名を理事長とし、副理事長を1名置くことができる。
 3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副理事長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。
 ○評議員について
 定款第10条 この法人に評議員5名以上15名以内を置く。

顧問(5名) 令和2年6月30日現在		
役名	氏名	役職名
顧問	鷹司 尚武	(宗)神社本庁統理
顧問	小松 揮世久	(宗)神宮大宮司
顧問	三村 明夫	全国神社総代会会長
顧問	佐柳 正三	(学)國學院大學理事長
顧問	佐古 一洌	元(学)皇學館理事長

参与(47名)		令和2年6月30日現在
役名	氏名	役職名
参与	吉田 茂穂	神奈川県神社庁長
参与	中山 高嶺	埼玉県神社庁長
参与	奥澤 公慶	群馬県神社庁長
参与	岡嶋 千暁	千葉県神社庁長
参与	飯塚 重	茨城県神社庁長
参与	黒川 正邦	栃木県神社庁長
参与	根津 泰昇	山梨県神社庁長
参与	芦原 高徳	北海道神社庁長
参与	鍵 三夫	宮城県神社庁長
参与	丹治 正博	福島県神社庁長
参与	工藤 均	青森県神社庁長
参与	宮野 直生	山形県神社庁長
参与	面山 浩康	秋田県神社庁長
参与	塚原 徳生	三重県神社庁長
参与	牧野 武彦	愛知県神社庁長
参与	櫻井 豊彦	静岡県神社庁長
参与	可知 重彦	岐阜県神社庁長
参与	宇治橋 淳	長野県神社庁長
参与	永井 康之	新潟県神社庁長
参与	金岡 正和	福井県神社庁長
参与	北村 嘉章	石川県神社庁
参与	松本 正昭	富山県神社庁長
参与	垣田 宗彦	兵庫県神社庁長
参与	樋口 俊夫	奈良県神社庁長
参与	馬淵 直樹	滋賀県神社庁長
参与	九鬼 家隆	和歌山県神社庁長
参与	角河 和幸	島根県神社庁長
参与	牧 博嗣	岡山県神社庁長
参与	真庭 宗雄	山口県神社庁長
参与	圓藤 恭久	徳島県神社庁長
参与	池田 博文	香川県神社庁長
参与	三輪田 泰生	愛媛県神社庁長
参与	川村 公彦	高知県神社庁長
参与	池田 剛康	長崎県神社庁長
参与	徳久 俊彦	佐賀県神社庁長
参与	神 日出男	大分県神社庁長
参与	宮崎 國忠	熊本県神社庁長
参与	本部 雅裕	宮崎県神社庁長
参与	種子田 敬	鹿児島県神社庁長
参与	渡慶 次馨	沖縄県神社庁長
参与	湯澤 豊	神社本庁 本宗奉賛部長
参与	小間澤 肇	神社本庁 秘書部長・渉外部長
参与	岩橋 克二	神社本庁 秘書部長心得
参与	荒井 実	神社本庁 総務部長
参与	香取 大信	神社本庁 財政部長
参与	牛尾 淳	神社本庁 教化広報部長
参与	浅山 雅司	神社本庁 総合研究部長

諸会議

■理事会

理事会①

日時：令和元年8月21日（水）11時～12時20分

会場：神社本庁（渋谷区代々木1-1-2）地下一階会議室

出席理事：6名

田中恆清（理事長）、吉川通泰（副理事長）、打田文博、田尾憲男、大原康男、内田 智

出席監事：1名

小關笑子

【報告事項】

1. 前理事会以降の職務執行状況について
2. その他

【審議事項】

1. 平成30年度事業報告について
2. 平成30年度決算について
3. 任期満了による理事、監事、評議員の改選について
4. 第9回神道文化検定（神社検定）開催について
5. 参与の異動について
6. 定時評議員会開催について
7. その他

理事会②

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第33条第2項に基づく、書面決議

I. 理事会の決議があったものとするみなされた審議事項の内容

【審議事項】

1. 理事・田中恆清を代表理事に選定し、理事長とする
2. 理事・吉川通泰を業務執行理事に選定し、副理事長とする
3. 顧問・参与の異動について

II. 理事会の決議があったものとするみなされた日

令和元年9月24日（火）

理事会③

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第33条第2項に基づく、書面決議

I. 理事会の決議があったものとするみなされた審議事項の内容

【審議事項】

1. 令和2年度事業計画の件
2. 令和2年度予算の件
3. 「役員及び評議員の報酬に関する規程」変更の件
4. 「定款第27条」変更の件
5. 公益法人化に伴う諸規程の制定の件

II. 理事会の決議があったものとするみなされた日

令和2年6月10日（水）

【報告事項】

1. 前理事会以降の業務執行状況について
2. 内閣府立ち入り検査について（令和元年12月16日）
3. 天皇陛下御即位奉祝事業について
4. 季刊誌『皇室』について
5. 第9回神社検定の振替開催について

■評議員会

日時：令和元年9月10日（火）11時～12時

会場：日本文化興隆財団会議室

出席評議員：4名

山田 蓉、孫福弘明、茂木貞純、齋藤有子

出席理事：2名

田中恆清（理事長）、吉川通泰（副理事長）

出席監事：1名

小關笑子

【報告事項】

1. 参与の異動について
2. 第9回神道文化検定（神社検定）開催について
3. その他

【審議事項】

1. 平成30年度事業報告について
2. 平成30年度決算について
3. 任期満了による理事、監事、評議員の改選について

■監事会

監事会①

日時：令和元年8月20日（火）14時05分～15時15分

場所：神社本庁3階会議室

出席監事：1名

小關笑子

出席理事：2名

田中恆清（理事長）、吉川通泰（副理事長）

顧問税理士：2名

OAG税理士法人 法人税部 非営利法人チーム
税理士 岩田毅・コンサルタント 浦野佳子

監事会②

日時：令和2年2月28日（金）13時00分～13時55分

会場：神社本庁3階会議室

出席監事：1名

小關笑子

出席理事：1名

田中恆清（理事長）

顧問税理士：2名

OAG税理士法人 法人税部非営利法人チーム
税理士 岩田毅・コンサルタント 浦野佳子

令和元年度事業報告 附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年8月27日

公益財団法人日本文化興隆財団

公益財団法人日本文化興隆財団概要

昭和 45 年 2 月 19 日 財団法人国民精神研修財団として設立

平成 23 年 7 月 1 日 財団法人国民精神研修財団を一般財団法人日本文化興隆財団
に名称変更

平成 30 年 7 月 1 日 公益財団法人に認定

公益財団法人日本文化興隆財団に名称変更

定款に定める目的

日本文化の興隆を通じて、我が国の伝統的な精神や徳性を涵養する人づくり運動
を行い、もって社会教育の振興に寄与し、広く国家社会の繁栄に貢献することを目
的とする。

定款に定める事業内容

- (1) 我が国の伝統文化を振興するための講演会の開催や出版に関する事。
- (2) 青少年をはじめ、国民の健全な精神を育成するための体験学習会や講座の開催
に関する事。
- (3) 伝統文化の振興を通じて、鎮守の森を中心とする地域共同体の活性化を図るた
めの調査研究や事業提案に関する事。
- (4) 施設の維持管理及び貸与に関する事。
- (5) その他目的を達成するために必要な事業。

前項の事業は、日本全国において行うものとする。

令和元年度 事業報告書

令和2年8月27日発行
編集・発行 公益財団法人日本文化興隆財団
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-10
☎ 03-5775-1145
FAX 03-3475-5805